










## 市長公約事業のロードマップ一覧表

No	公約事業名	担当所属
1.子育て支援		
1	3歳未満児の保育料無償化	こども未来課
2-1	全園児の給食費の無償化（保育所）	こども未来課
2-2	全園児の給食費の無償化（幼稚園）	学務課
3	保育園の人員配置、設備の見直し	こども未来課
4-1	安全に遊べる屋内遊戯施設の整備	こども未来課・都市建築住宅課
4-2	安全に遊べる公園の整備	都市整備課
2.将来世代への投資		
5	英語・コンピュータ教育事業	学務課・指導室
6	学校外活動費助成事業	学務課
7	子ども議会の開催	企画財政課
3.高齢者の生活を守る		
8	交通手段の確保と利便性の向上	生活環境課
9	間口除雪の要件緩和	地域包括ケア推進課
10	医療福祉の環境・体制整備	地域包括ケア推進課・市立美唄病院事務局
4.安心・安全・健康に暮らせる環境づくり		
11	市立美唄病院の機能の再検討	市立美唄病院事務局
12	急性期医療機能における岩見沢・砂川との連携強化	市立美唄病院事務局、健康推進課
13-1	水道、道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	上下水道課
13-2	水道、道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	都市整備課
14	ブラックダイヤモンドとの連携による市民が運動する設備の整備	総務課、経済観光課
5.市民の暮らしとともにある観光		
15	アルテピアッツァ美唄の活用のあり方の再構築	生涯学習課
16	美唄富良野線開通を見据えた観光拠点づくり	経済観光課
6.農業・産業振興		
17	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付	農政課
18	スマート農業の産官学連携による推進	農政課
19	企業誘致による雇用の創出	経済観光課
20	ふるさと納税の倍増	企画財政課
7.物価高騰対策		
21	市独自の直接給付（1万円）の実施	特別定額給付金推進室
22	生活用品等の寄附窓口の設置と再配布の事業化	生活環境課
8.市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ		
23	政策形成や意思決定の過程の見える化	企画財政課
24	予算が大きく優先度が低い事業の見直し	企画財政課
25	年40回を目標とした市民と市長との対話会の実施	広報情報推進課
26	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制構築	危機管理対策室










市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	3歳未満児の保育料無償化	担当部署	こども未来課
内容	国による無償化対象外の3歳未満児についても保育料無償化を実現するもの。				関連事務事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立保育所管理運営事業</li> <li>・へき地保育所管理運営事業</li> <li>・認定こども園管理運営事業</li> <li>・一時保育事業・病児保育事業</li> <li>・幼児保育無償化実施事業</li> <li>・許可外保育施設多子世帯保育料補助事業</li> </ul>	
重要業績成果指標 KPI	保育料の見直し				現状値 (指標設定時)	90,700円～4,500円	
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	無償化	無償化		
実績値	—	—	—	無償化	無償化		
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①各施設の実態把握	 					
	②保育料（利用料）の確認、他市状況の調査、課題等の整理、関係者等との協議、課題等の解決	 					
	③保育料の見直し(条例・規則改正)、保護者説明、市民周知、入所受付			 			
	④保育料の無償化						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	各種の資料や北海道のホームページ等で、各施設の実態や他市の状況を確認。給食費の無償化と併せて、実施に向けた課題等を整理。これらを踏まえ、給食費の無償化と同時実施の方針を決定。令和8年4月から実施						
現状の課題	—						
今後の取組(予定)	—						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	2-1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	全園児の給食費の無償化	担当部署	こども未来課
内容	全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。					関連事務事業	・市立保育所管理運営事業 ・へき地保育所管理運営事業 ・認定こども園管理運営事業
重要業績 成果指標 KPI	保育施設の園児の給食費の無償化					現状値 (指標設定時)	2,240円～5,600円 ピパの子保育園、認定こども園の0～2歳保育料に含まれている
年度		2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	
目標値		—	—	—	無償化	無償化	
実績値		—	—	—	無償化	無償化	
実施内容 [凡例]  計画 ⇄ 実施 ⇄	①各施設の実態把握	⇄					
	②他自治体の状況把握、制度内容の協議検討、課題等の整理、関係者等との協議、課題等の解決	⇄					
	③条例等の見直し、保護者説明、市民周知、入所受付			⇄			
	④給食無償化の実施				⇄		
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	各種の資料や北海道のホームページ等で、各施設の実態や他市の状況を確認。保育料の無償化と併せて、実施に向けた課題等を整理。これらを踏まえ、保育料の無償化と同時実施の方針を決定。令和8年4月から実施						
現状の課題	-						
今後の取組(予定)	-						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	2-2	基本施策	1 子育て支援	公約事業	全園児の給食費の無償化	担当部署	学務課
内容	全ての園児の給食費を無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るもの。					関連事務事業	私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業 幼児教育無償化実施事業 私立幼稚園一時預かり事業
重要業績 成果指標 KPI	私立幼稚園の園児の給食費の無償化					現状値 (指標設定時)	—
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	無償化	無償化		
実績値							
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①各施設の実態把握	 					
	②他自治体の状況把握 制度内容の協議検討	 					
	③規則等の制定			 			
	④給食無償化の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>他自治体の状況把握</li> <li>市内幼稚園の給食実施状況の把握</li> <li>令和7年度に要綱を制定</li> </ul>						
現状の課題	市内全園児を対象とするため、今後は保育所を所管する「こども未来課」とも連携を図り、本市独自の制度設計を構築する必要がある。 市内に居住し、市外の幼稚園に通園している方について、償還払いにするのか、委任払いにするのか検討を要する。 国の制度で、副食費の免除を受けている方の取扱いの検討。						
今後の取組(予定)	令和8年4月分の給食費から無償化をスタート						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	3	基本施策	1 子育て支援	公約事業	保育園の人員配置、設備の見直し	担当部署	こども未来課	
内容	潜在的な待機児童の解消と安全で豊かな保育の実現に向け、保育園の人員配置、設備を見直します					関連事務事業	市立保育所管理運営事業 へき地保育所管理運営事業 認定こども園管理運営事業	
重要業績 成果指標 KPI	3歳未満の児童の受入れ人数の見直し					現状値 (指標設定時)	ピパの子保育園 50名 認定こども園ひまわり 6名	
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
目標値	-		-		-		-	ピパの子保育園 60名 認定こども園ひまわり10名
実績値	-		-		-		-	3歳未満 10~20名程度増
実施内容 [凡例]	計画 実施	①各施設の受入れ体制の 確認、施設整備に向けた協 議・課題整理など						
		②保育士の確保						
		③施設の改修・整備（計 画・設計含む）						
		④各施設の受入れ定員の 見直し（条例・規則改正）						
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等	3歳未満児の受入拡大などによる保育士の確保に努めているが、必要数の確保に至っていない。 3歳未満児の受入拡大に向けた施設改修については、既存施設の改修を基本として検討中である。					
これまでの取組	保育士の確保については、これまで行ってきた短大や専門学校などの保育士養成機関への訪問によるPRに加え、主に有資格者をターゲットとした保育士専門求人サイトへの広告掲載を行った。 保育施設の整備については、保育現場における課題等を整理した上で、整備担当課等と施設整備に向けた協議を行った。							
現状の課題	保育士の確保については、引き続き上記の取組を行い採用に努める。 本市の出生数が40人程度となっている状況であり、幼稚園を含めた今後の保育施設の在り方について検討する必要がある。（大規模改修、施設の増設等は困難） 既存施設での受入拡大に対応可能な改修手法について検討しなければならない。							
今後の取組(予定)	令和8年度においても保育士養成機関への訪問や保育士専門求人サイトへの広告掲載を実施するほか、試験日程や選考手法等の見直しについて、人事担当課と協議を行っていく。 各クラスの保育士人員及び施設の活用方法の見直しを含め、3歳未満児の受入拡大を図っていく。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	4-1	基本施策	1 子育て支援	公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備	担当部署	こども未来課、都市建築住宅課
内容	一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します					関連事務事業	—
重要業績 成果指標 KPI	屋内遊戯施設の整備					現状値 (指標設定時)	—
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	—	—		
実績値	—	—	—	—	—		
実施内容 [凡例] ←→ 計画 ↔ 実施	①公住建替市民検討委員会の開催及び基本構想の策定	←→					
	②アンケートの実施	←→		↔	↔	←→	
	③整備に向けた協議・検討	↔		↔	←→	←→	←→
	④基本計画・基本設計・実施設計	↔		↔	←→	←→	←→
進捗管理							
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等	「美唄市公営住宅建替え等基本計画」の策定経過における庁内協議で、市営住宅を建替え事業を優先して行う事で合意した。				
これまでの取組	旧美唄工業高校跡地の利活用については、「美唄市公営住宅建替え等基本構想」や上位計画との整合性を踏まえ、図書館・公民館等を含めた複合化を検討してきたものの、庁内で合意形成に至らなかったことから、老朽化対策や居住環境改善を優先し、市営住宅建替え事業を先行して進めることとした。 屋内遊戯施設については、令和5年度に屋内遊戯施設に関するアンケート調査を実施したほか、近隣市町の屋内遊戯施設を視察を行った。						
現状の課題	「旧美唄工業高校跡地の利活用に関する庁内検討委員会」においては、個々の施設の具体的な検討には至っていない。						
今後の取組(予定)	引き続き、庁内検討委員会において跡地利活用に関する協議を進めるとともに、市営住宅建替え事業については、機能・規模・配置計画・事業手法の具体化を図り、整備の方向性を整理した上で事業を推進する。 屋内遊戯施設については、主に市内の幼児から小学低学年が通年を通し安心して遊べる施設で、複合的な施設活用による市民の居場所となるよう、旧美工跡地も含めた中心市街地での施設整備を基本に、総務部、経済部、都市整備部、教育委員会等関係部署との連携を図りながら、取り組んでいく。						


市長公約事業のロードマップ (2023-2027)

公約 番号	4-2	基本施策	1 子育て支援	公約事業	安全に遊べる公園や屋内遊戯施設の整備	担当部署	都市整備課
内容	一年を通じて子どもたちが安全に遊べる公園や屋内遊戯施設を整備します					関連事務事業	公園施設等再整備事業
重要業績 成果指標 KPI	-					現状値 (指標設定時)	-
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	-	-	-	-	-		
実績値							
実施内容 [凡例]  計画 ⇔ 実施 ⇔	①既存遊具の点検・管理等	⇔					
	②新たな公園遊具の検討	⇔					
	③工事発注・完成		⇔				
進捗管理							
進捗状況	完了	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具の設計単価を決定する業務を実施。</li> <li>・9/3~12/20の期間で工事を行った。(終了)</li> </ul>						
現状の課題							
今後の取組(予定)							

市長公約事業のロードマップ (2023-2027)

公約番号	5	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	英語・コンピュータ教育事業	担当部署	学務課・指導室	
内容	英語：世界とつながる教育を小学校1年生から実施します コンピュータ：発達段階に応じたコンピュータリテラシーを身に付けさせる教育を小学校1年生から実施します。				関連事務事業	・外国人講師小中学校派遣事業 ・小・中学校コンピュータ教育事業		
重要業績 成果指標 KPI	英語：標準学力検査（NRT）…偏差値平均50以上 授業以外で英語でコミュニケーションをとる機会（中学校）…年30回以上 コンピュータ：発達段階に応じた設定目標推進（参考：iPad 学年別活用スキル表）				現状値 (指標設定時)	小6 48.0 中1 46.2 中2 46.9		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	
目標値	偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成		偏差値50/スキル達成	
実績値	偏差値46.4/スキル未達成		偏差値46.8/スキル未達成					
実施内容 [凡例]	計画 ↔ 実施 ↔	①英語教育の充実 ・国際理解教育の推進（小1、小2） ・外国語活動及び外国語・英語教育の充実（小3～中3）						
		②コンピュータ教育の充実 ・学年別活用スキル表に基づく取組推進						
		③世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた内容の検討						
		④世界へ視野を広げた教育活動の充実に向けた取り組みの実施						
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等	小学校の低学年における国際理解教育の機会の確保が十分ではなく、外部講師等を活用した英語に触れる機会を模索している。					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTを活用した国際理解教育の実施および英語教育の充実。</li> <li>海外在住者とのビデオ等による交流。</li> <li>中学校におけるALTを活用した英語でコミュニケーションをとる機会（放課後）の充実。</li> <li>学年別活用スキル表に基づいたコンピュータリテラシーの段階的な取得。</li> <li>イマージョン教育の先進校（雨竜町・上砂川町）の調査。</li> </ul>							
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校低学年に対する国際理解教育の機会の確保が課題である。</li> <li>海外在住者等との交流が単方向となってしまっていることや時間的な課題（時間の確保、時差等）がある。</li> <li>タブレット端末（コンピュータ）の活用が授業をはじめ様々な場面で図られているが、コンピュータリテラシーの習得状況には差がある。</li> </ul>							
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態に基づく学年別活用スキル表の改善（更新）。</li> <li>現在進めている教育活動を継続しながら、双方向での交流など教育活動の充実・改善を進めていく（グローバル教育アドバイザーの活用）。</li> <li>「英語が日常にある環境づくり」：読書環境（英語）の整備、休み時間等を活用したネイティブスピーカーとの交流の機会の設定。</li> </ul>							










市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	6	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	学校外活動費助成事業	担当部署	学務課	
内容	家庭環境によらず、子どもたちが自らの可能性を広げる機会を提供するために、学校外活動（習い事、塾など）にかかる費用の一部助成を検討します				関連事務事業			
重要業績成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
目標値	—		—		—		—	—
実績値								
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①他自治体の状況把握	 						
	②制度内容の検討及び市内事業者との協議		 					
	③規則等の制定							
	④助成事業の実施							
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		令和8年7月からの実施する。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町村の実施状況調査</li> <li>・市内主要塾経営者等との協議（3事業者）</li> <li>・令和8年5月に要綱制定。</li> </ul>							
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同様の事業を実施している他市町村が非常に少ない</li> <li>・費用助成の対象となる学校外活動の範囲設定並びに助成支給対象学校種の設定</li> <li>・助成金支給方法の検討（先払いか後払いかなど）</li> </ul>							
今後の取組(予定)	該当となる中学2年、3年生の世帯に対し、事業の啓発を行う。							











市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	7	基本施策	2 将来世代への投資	公約事業	子ども議会の開催	担当部署	◎広報情報推進課				
内容	子どもや若者が参画する（仮称）若者会議を設置し、若者自らが議論し実践できる場をつくる。				関連事務事業	子どもとまちの未来会議運営事業					
重要業績 成果指標 KPI	子どもとまちの未来会議からの事業提案				現状値 （指標設定時）	0件					
年度	2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		2027年度（R9）		
目標値	0件		1件		4件		4件		4件		
実績値	0件		0件		4件						
実施内容 [凡例]  計画   実施 	①先進事例調査										
	②「子どもとまちの未来会議」の制度設計										
	③子どもとまちの未来会議の開催・運営										
進捗管理											
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		令和7年度においては、18歳以下の子どもたちがまちづくりに主体的に関わる原体験の場として「子どもとまちの未来会議」を実施した。10～11月に美唄市議会議場を会場に開催し、4グループの子どもたち（参加70名）がそれぞれ地域課題を発見・議論し、解決策を提案。当日はYouTubeによるライブ配信も行い、55名の傍聴者を得た。目標提案件数4件に対し4件の提案を達成し、計画通り進捗している。							
これまでの取組	<p>令和5年度中においては、美唄中学校と連携し、中学生による模擬議会体験の取組を実施した。</p> <p>令和6年度に入ってから、美唄シティプロモーション推進事業の取組として、6月に、子ども参画のまちづくりの先進自治体である宮崎県都農町への視察を実施するとともに、7月には、子どもたちが主役となり、地域の大人たちと力を合わせてまちを盛り上げる活動を行う「美唄まちづくり部」を立ち上げ、活動を開始したところ。また、尚栄高校において実施している「探究学習」への助言役として、各分野の地域おこし協力隊に取組への参画の調整も行い、子ども・若者のまちづくりへの関わりづくりを進めてきたところ。</p> <p>令和7年度においては、「子どもとまちの未来会議」を実施し、10～11月に美唄市議会議場を会場として、4グループの子どもたち（参加70名）が地域課題の発見・議論・提案を行った。市公式YouTubeによるライブ配信も実施し、55名の傍聴者を得るなど、広く市民への発信にもつながった。子どもたちの提案からは具体的な事業化の動きも生まれており、美唄まちづくり部で提案の「市役所内かくれんぼ」はHTBにて放送されたほか、市内在住の高校生による「まちおこしプロレスin美唄」については北海道新聞全道版への掲載およびTVHにおいてテレビ報道が予定されるなど、子ども発の提案が市内外に広く波及する結果となった。</p>										
現状の課題	<p>「美唄まちづくり部」の部員は今のところ小・中学生のみとなっており、高校生を含む市内各校の代表者が集まったの合議体といったものにもなっていない。</p> <p>「子どもとまちの未来会議」については、令和7年度に新たに始まった取組であることから認知度が低く、提案の募集に苦慮した経過がある。また、子どもたちの提案を実行に移す段階において、行政や市民との連携・巻き込みの仕組みが十分に整っておらず、提案の実現に向けた体制づくりが今後の課題である。</p>										
今後の取組(予定)	<p>引き続き「子どもとまちの未来会議」を継続・拡充し、参加校や参加団体の広がりを図るとともに、子どもたちの提案が実際のまちづくりに結びつくよう、行政・市民との連携の仕組みを整えていく。また、提案の実現を後押しする補助金制度の整備についても検討を進める。財源については、令和7年度より北海道市町村振興協会の「未来を創る子ども応援事業助成金」の採択を受けているが、単年度申請・上限3年であること、また採択事業への充当は不可であることから、持続可能な運営体制の構築が課題である。長期的な財源確保に向けて、企業からの協賛・支援の獲得や青少年育成基金等の活用を検討し、取組の継続性を担保していく。</p>										

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	8	基本施策	3 高齢者の生活を守る	公約事業	交通手段の確保と利便性の向上	担当部署	市民部生活環境課
内容	市街地の効率的な公共交通体系の実現を図るため、AIデマンドシステムの導入を検討することで、利便性の向上を目指す。					関連事務事業	地域公共交通活性化・再生総合事業
重要業績成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	—	—		
実績値	制度設計完了	10月より実証調査開始					
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①AIデマンド制度設計	 					
	②地域説明会・実証運行			 			
	③実証運行の検証			 			
	④AIデマンド本格運行						
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	令和4年12月に策定した美唄市地域公共交通計画に基づき、AIデマンドバスを検証するために美唄市地域公共交通活性化協議会において検討した。現在、令和6年10月から開始した、美唄市AIデマンドバス短期実証調査業務を継続するとともに、得られた利用状況などのデータを検討中。						
現状の課題	人口減少や少子高齢化に伴う通勤・通学における公共交通利用者の減少や、運転手不足、財政のひっ迫状況から、市内の公共交通をこのまま維持することが困難になってきており、これまで以上に利便性が高く効率的な公共交通体系の充実が必要である。						
今後の取組(予定)	今後は、美唄市地域公共交通計画で定める、3年間の実証調査期間後の本格運行に向けて、引き続きAIデマンドバス実証調査の利用状況データ等の調査検討を行い、AIデマンドバスの本格運行へとつなげていくと共に、既存バス路線との接続最適化や、空白地域の解消に向けた交通体系の再構築を目指す。						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	9	基本施策	3 高齢者の生活を守る	公約事業	間口除雪の要件緩和	担当部署	地域包括ケア推進課
内容	高齢者宅間口除雪支援における要件緩和により負担低減に向けて、要件緩和の可能性や実施方法を検討する。					関連事務事業	間口除雪事業
重要業績成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	—	—		
実績値							
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①要件緩和の検討	 					
	②実施方法の検討	 					
	③拡充内容の内部調整			 			
	④事業者、市民周知			 			
進捗管理							
進捗状況	完了	進捗状況に関する理由・補足等	必要と思われることを確実にを行った。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落支援員や建設業協会の皆様から助言をいただき、令和7年度から市道の歩道路線についての間口除雪を開始した。</li> </ul>						
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度は歩道路線の間口除雪の利用者がいなかった。令和7年度は70歳以上の対象者を要介護・要支援者に限定していたため、令和8年度はその要件を撤廃した。</li> </ul>						
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度の冬に向け、建設業協会や業者と打ち合わせ。</li> <li>市民への周知。</li> </ul>						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	10	基本施策	3 高齢者の生活を守る	公約事業	医療福祉の環境・体制整備	担当部署	地域包括ケア推進課
内容	医療福祉の環境・体制整備により安心して歳を重ねられるまちにします					関連事務事業	在宅医療介護連携推進事業
重要業績 成果指標 KPI	人手不足に対する新しい対応方法を実践できる事業所					現状値 (指標設定時)	0 か所
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	1	2	3		
実績値			0				
実施内容 [凡例] 計画 ⇔ 実施 ⇔	①人手不足の介護事業所の 状況調査※1	⇔					
	②人手不足への新しい対応 方法を検討※2		⇔	⇔	⇔		
	③新しい対応方法の実践					⇔	
	④評価・検証					⇔	
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	必要と思われることを着実にやっている。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東小学校、中央小学校、尚栄高校、聖華高校での認知症サポーター養成講座の継続（市内の介護従事者等の多職種と児童、学生の交流）</li> <li>・道の「介護のしごと魅力アップ推進事業」を市内で開催</li> <li>・資格がなくても働ける内容について、シルバー人材センターと検討。</li> </ul>						
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたい人と人手不足の現場のマッチングを行う必要がある。</li> </ul>						
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護事業者の業務のうち、資格がなくても働ける内容と業務量について精査予定。</li> </ul>						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	11	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	市立美唄病院の機能の再検討	担当部署	市立美唄病院事務局	
内容	市民の命を守るため、高齢者医療、回復期医療に機能分化する方針を掲げる市立病院の機能を2024年度までに再検討します。					関連事務事業		
重要業績 成果指標 KPI	-					現状値 (指標設定時)	-	
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
目標値	-		-		-		-	-
実績値	1会議(プラン)/4会議(せき損)		1会議(プラン)/6会議(せき損)		1会議(プラン)/6会議(せき損)			
実施内容 [凡例]  計画 ←→ 実施 ↔	機能の再検討							
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		北海道せき損センター移転による医療提供体制への影響を考慮しつつ、新たな地域医療構想の考え方や市立美唄病院の将来構想について議論を行っている。				
これまでの取組	令和5～7年度：市立美唄病院経営強化プラン推進委員会開催し、経営強化プランの点検評価報告等について議論 ・北海道せき損センター移転について、（独）労働者健康安全機構及び北海道せき損センターと協議 ・北海道せき損センター移転した場合の市立美唄病院の機能についての検討を行う ※令和4年度：必要な医療提供体制を確保するため「市立美唄病院経営強化プラン」策定							
現状の課題	・国の「新たな地域医療構想」への対応～高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能 ・病院経営安定化に向けた収支構造の改善 ・北海道せき損センター移転による医療提供体制への影響							
今後の取組(予定)	機能再検討の目標時期は令和6年度までとしていたが、現在、北海道せき損センター移転の動向や国の「新たな地域医療構想」に基づく道における計画策定など、本市の医療提供体制に関わる前提条件が変化している。これら周辺環境の動きは、本市が目指すべき医療体制への道程としておおむね順調に進捗しているものと位置づけられる。 これらを踏まえ、「市立美唄病院経営強化プラン」に基づき、当院が果たすべき役割や医療需要の変動を的確に捉え、機能の見直し検討を継続していく。特に今後の検討にあたっては、総合診療医を中心とした安心の医療提供体制や、地域で医師を育てる育成体制の構築など、将来的な医療の「拠点化」に向けた壮大かつ長期的なビジョンを計画の視野に確固たるものとして位置づける。 なお、今後の検討過程においては、総務省の「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、専門アドバイザーからの助言を得ながら、市立美唄病院経営強化プラン推進委員会において協議し、着実に進めていく。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	12	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	急性期医療機能における岩見沢・砂川との連携強化	担当部署	市立美唄病院事務局、健康推進課		
内容	急性期医療機能における岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化に向け、救急医療に関する情報交換会を行い、救急医療体制の継続・強化を図るため連携協定を締結する。				関連事務事業	救急医療啓発普及事業			
重要業績 成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—			
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		
目標値	—		—		—		—		
実績値									
実施内容 [凡例] 計画 実施	①両病院との情報交換 (年1回)	←		→		←		→	
	②消防署、医師会等関係機関との連携強化を目的とした協議会(仮)の開催(年1回)	←		→		←		→	
	③両病院との連携協定の締結	←		→		←		→	
進捗管理									
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		市立美唄病院において岩見沢市立総合病院・砂川市立病院との連携強化を図るとともに、岩見沢市、砂川市と救急医療に関する情報共有を行い関係構築に努めている。今後、近隣自治体との連携について、必要な協定を結ぶ方向ですすめていく。					
これまでの取組	市立美唄病院において日常的に岩見沢市立総合病院・砂川市立病院事務局と情報共有を行っている。 R7 7.1 美唄市医師会主催で救急医療意見交換会を開催し、救急医療提供体制の現状と課題について協議している。								
現状の課題	美唄市医師、道内医科大学及び大阪医科薬科大学に医師の派遣を依頼し、夜間・休日の救急医療体制を確保している。今後持続可能な救急医療提供体制の確保に向け、岩見沢市立総合病院・砂川市立病院と連携協定を締結する必要がある。 砂川市立病院中心に中空知圏域では地域医療連携推進法人設立に向け協議を行っている。圏域を越えた法人への参画について道との協議が必要。								
今後の取組(予定)	中空知圏域の地域医療連携推進法人加入に向けた協議(または連携協定締結に向けた協議) R9そらネット加入に向けた準備(加入手続き、補助の申請等) 救急医療意見交換会の開催(令和8年7月6日)								

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	13-1	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	水道などのインフラ劣化へ計画的な対応	担当部署	上下水道課	
内容	老朽化が進む上下水道施設の管理更新を計画的に実施するため、施設の点検を強化し、その結果や経過年数・施設の重要度等により優先順位を決定してインフラ劣化へ計画的に対応します。				関連事務事業	水道事業 下水道事業		
重要業績 成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	
目標値	—		—		—		—	
実績値	管渠1,323m・マンホールポンプ所1箇所		管渠1,182m・マンホールポンプ所1箇所		管渠725m・マンホールポンプ所1箇所			
実施内容 [凡例] 計画  実施 	上水道施設 改築更新							
	下水道施設 改築更新							
	水道料金改定の検討							
	分散型水道システムの検討							
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		上水道施設は、国道12号拡幅工事に伴う移設工事を優先することにより、更新工事の予定が先送りになっている。 上水道施設ほどではないが、下水道施設は、交付金が要望額通りに内定されないことにより、更新工事の予定が先送りになっている。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水道施設 改築更新 上水道施設に関しては、現計画が令和6年度までのため、建設事業改良計画（R7～R16）の策定を行った。（策定済み） 国や道の工事における今後の計画を協議し、道路工事及び移設補償工事が円滑に行えるように努めた。</li> <li>・下水道施設 改築更新 汚水整備事業は、整備面積が85.3%に達して事業は終盤を迎えており、現在はストックマネジメント計画を中心に改築更新事業を行っている。</li> </ul>							
現状の課題	今後さらに老朽施設が増加していくため、施設の維持管理や老朽化に伴う更新費用の増大により経営環境が厳しくなることが想定される。							
今後の取組(予定)	引き続き、国や道との協議を進めることにより円滑に移設工事を実施する。また、施設の点検結果を更新計画へ反映させる。 下水道施設の現計画が令和7年度までのため、次期ストックマネジメント計画（R8～R12）を令和7年度に策定する予定。（策定済み） 人口減少により収益が減少している中、老朽化施設の更新など水道事業の持続可能な経営を行うため、令和8年度は市民検討委員会を設置する。 人口減少に適応した水道事業の持続的かつ効率的な機能確保の観点から、対策案の一つとして分散型水道システムの検討を行っている。令和8年度に実証実験を行う予定。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	13-2	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	道路などのインフラ劣化へ計画的な対応	担当部署	都市整備課	
内容	道路などのインフラ劣化へ計画的に対応するため、路線箇所の優先順位付けの検討を行う。				関連事務事業	都市計画街路整備事業		
重要業績成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	
目標値	—		—		—		—	
実績値								
実施内容 [凡例]  計画  実施 	生活道路の整備に係る評価基準の検討	 						
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等	優先順位判定に係る調査方法および基準項目の検討に時間を要している。					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路における再整備の路線選定は維持管理費を削減する観点から融雪期の土のうの設置数が多い路線を最優先とし、地域要望や東西南北の地域バランスを考慮し決定している。</li> </ul>							
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備対象となる用途区域内における生活道路は329路線で延長が85kmある。</li> <li>生活道路における再整備は凍上の影響によって被害を受けた道路であり、凍上の被害の発生や進行は路線によって異なり予測は困難である。</li> <li>路線数の多さや凍上被害の進行状況が路線によって異なるため順位付けを行った場合、毎年見直しが必要となり事務が煩雑となる。</li> <li>職員での現地調査によるランク付けは、現地調査による判断を明確にする測定方法や測定基準が策定できていないことや、凍上被害が生じている1か月程度において調査を実施するには人員が不足している状況。</li> </ul>							
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>順位付けではない路線のランク付けが可能か検討する。</li> <li>判定基準に係る評価表の作成について検討する。</li> </ul>							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	14	基本施策	4 安心・安全・健康に暮らせる環境づくり	公約事業	美唄ブラックダイヤモンドとの連携による市民が運動する設備の整備	担当部署	総務課・ 経済観光課・生涯学習課	
内容	パートナー協定を締結する美唄ブラックダイヤモンドが管理する屋内運動施設を市民に解放してもらうことを協議検討する。				関連事務事業	公有財産管理事務 スポーツビジネス起業化支援事業		
重要業績 成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	
目標値	—		—		—		—	
実績値			子供野球教室					
実施内容 [凡例]  計画 ⇄ 実施 ⇄	①市民への施設解放							
	②連携事業の実施							
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		美唄ブラックダイヤモンドの活動などとおして、屋内運動施設を開放する。				
これまでの取組	パートナー協定に基づき、スポーツの振興や子供の育成などを目的とした「野球少年団への指導」や「小学校児童との交流」、「地域住民との交流会」などの開催のほか、美唄ブラックダイヤモンドが運営上支障のない範囲において、野球やサッカーなどに関わる地元の小中学生や高校生に対し、屋内運動施設を開放するなど、関係人口の創出と交流人口の拡大を図る、施設の多面的な活用に取り組んでいる。							
現状の課題	美唄ブラックダイヤモンドの活動に支障のない範囲での限定的な施設解放とする。さらに一般解放等の利用拡大は課題である。R7年度は、トレーニング器具の購入費を補填するため、全国に向けてクラウドファンディングの募集をかけ、希望額には届かなかったが購入費の一部に充てるなど、資金調達面の工夫をしている。							
今後の取組(予定)	美唄ブラックダイヤモンドと緊密に連携し、相互による交流を図りながら、パートナー協定に基づき、引き続き屋内運動施設の開放を進めていく。 市民向け野球教室 など							









市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	15	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光	公約事業	アルテピアッツァ美唄の活用のあり方の再構築	担当部署	生涯学習課	
内容	多額の予算を投じている「アルテピアッツァ美唄」について、市としての活用におけるあり方を市民とともに再構築します（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し）。				関連事務事業	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄管理運営事業 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄整備事業		
重要業績 成果指標 KPI	—				現状値 (指標設定時)	—		
年度	2023年度（R5）		2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）	
目標値	—		—		—		—	
実績値								
実施内容 [凡例]  計画  実施 	①関係者等との協議・検討							
	②入場（入館）料可否の検討							
	③安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄ビジョンの見直し							
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等						
これまでの取組	NPO法人とのアルテビジョンの見直し、入館料徴収についての意見交換及び令和5年度的美唄市文化財保護委員会内での入館料徴収の必要性についての委員との意見交換を行った。							
現状の課題	入館料の徴収について、徴収する場合は本施設は様々な場所から敷地内に入ることができることから、敷地内に入った全ての人から徴収するのか、建物の中に入った人から徴収するのか等、どこでどのような形で入館料を徴収するか引き続き検討が必要							
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り、引き続き関係者と施設の活用方法や入館料の徴収などについて協議・検討を行っていく。</li> <li>・令和8年度中のアルテビジョンの改訂に向け取り組む。</li> </ul>							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	16	基本施策	5 市民の暮らしとともにある観光	公約事業	美唄富良野線開通を見据えた観光拠点づくり	担当部署	経済観光課	
内容	観光ビジョンに掲げる観光拠点施設の整備について、今後の市内外の交流人口・関係人口創出を促進させるため、市の魅力を最大限活用した観光拠点を市民等との協働により検討する。				関連事務事業	新規事業		
重要業績成果指標 KPI	-				現状値 (指標設定時)	-		
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	
目標値	-		-		美富線動向調査 (3期)		-	
実績値			来訪者調査 (積雪期・無雪期)					
実施内容 [凡例]	観光拠点候補地の選定・アンケート調査等							
計画								
実施								
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		R6.8.26開通に合わせ、進捗中				
これまでの取組	道道美唄富良野線未開通15.5kmについて、工事を実施してきた結果、R6年度に道路の開通がされたところ。道路の開通に伴い、R7年度は、道道美唄富良野線道道美唄富良野線実行委員会を解散し、道道美唄富良野線活用地域活性化推進協議会が設立され、活用地域活性化推進協議会にて基調講演、スタンプラリー、フォトコンテストを実施。							
現状の課題	R7年度は4月25日再開したところであるが、冬期間は安全面を見極めるため通行止めが数年続くとの見解。緊急時の連絡が途絶えている区間である。							
今後の取組(予定)	R8～①道道美唄富良野線開通の周知、拡大等を見据え動向調査を予定。 地域間の活性化を図るため3市（芦別、富良野、美唄）スタンプラリーを計画中。本市としては協力体制を図り事業を推進していく方針。 ②スキー場の夏利用や周辺の環境整備も一体に検討。 R9～スキー場整備の完成を目指す。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	17	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付	担当部署	農政課
内容	資材・肥料・燃油高騰に直面している農業への給付				関連事務事業	農業経営緊急支援事業	
重要業績 成果指標 KPI	-				現状値 (指標設定時)	-	
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	-	-	-	-	-		
実績値	403						
実施内容 [凡例]  計画  実施 	①支援内容の検討	 					
	②支援内容の審査・決定	 					
	③支援開始	 					
進捗管理							
進捗状況	完了	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	令和5年度 経営面積1ha当たり2,500円、施設園芸作物売上に応じた支援100-300万円15,000円、300-500万円25,000円、500-700万円50,000円、700-1,000万円75,000円、1,000万円以上100,000円の支援 令和5年度で終了						
現状の課題	資材・肥料・燃油高騰は継続している						
今後の取組(予定)	ありません						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	18	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	スマート農業の産官学連携による推進	担当部署	農政課
内容	効率化や後継者不足といった課題の打ち手として、「美唄の農業に適したスマート農業」を産官学連携のもと推進します。				関連事務事業	美唄スマート農業推進事業	
重要業績 成果指標 KPI	スマート農業機械利用者普及率				現状値 (指標設定時)	31	
	年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	
	目標値	35	40	45	50	60	
	実績値	38.56	41.02	46.31			
実施内容 [凡例] 計画 実施	①産官学連携方法の検討						
	②大学等との連携開始						
	③産官学連携事業の実施						
進捗管理							
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等		<p>これまで連携内容としては「ドローンやLPWAを活用した美唄市農業のスマート化」について、野口教授とメールを中心に意見交換またはイベント開催日程等を調整し進めてきたが、令和6年度の年明けに「貴市との協業について、美唄市向けの新規水稲品種等の研究を検討しており、北海道大学植物育種学研究室の貴島教授、北農研の保田領域長らが参画を検討している」との連絡があったことを皮切りに、検討の方向性が「野口教授を中心としたスマート農業」から「貴島教授を中心とした飼料用米新規品種開発」へ移行した。その後、6年度末に貴島教授を中心とした北海道大学をはじめ、北農研や畜産関係者等を含めた飼料用米新規品種開発等に係るプロジェクトを企画し、新たなコンソーシアムを立ち上げた。</p> <p>取組内容については、研究側と現場側のニーズの差異や活用を予定する国の補助事業との兼ね合いもあることから、慎重に議論を進めてきた経過があり、当初の計画より連携の開始（協定式）は遅れている状況にある。</p> <p>一方で、現在は貴島教授が研究している飼料用米について、農家から借り受けたほ場で作付けを行うなど、飼料用米新規品種の試験栽培に着手しており、また、作業計画や評価方法の検討をはじめ、生育分析、収穫適期予測、施肥判断などへのスマート農業技術の活用可能性についても併せて議論を進めている。そのほか、北海道大学とは生態環境物理学研究室の山田先生を中心に「マガンの食害対策を目的とした追い払いシステムの開発及び研究」について業務委託を締結し、連携体制を構築したところ、令和7年度には農作物被害防止に向けた要求仕様を満足する試作機が完成しており、今後は実証実験を行っていく予定である。</p>			
これまでの取組	<p>令和5年10月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で面談、令和6年2月 桜井市長と北海道大学野口教授などと大学内で2回目の面談</p> <p>令和6年2月 美唄市ICT農業推進協議会が野口教授との面談とスマート農業施設視察、令和6年6月 野口教授が市役所で美唄市ICT農業推進協議会向けの講演</p> <p>令和6年7月 野口教授へ連携協定内容案について打診</p> <p>令和6年9月 野口教授へ連携協定内容（※）の提案。そのほかスマート農業に関する事項だけでなく農学部全体との連携を提案される。</p> <p>（※）美唄市で美唄市の土壌データを収集し、そのデータをAIが分析・判断して最適解を提示するというデジタルツインモデルの構築案</p> <p>令和6年12月 市民会館大ホールで野口教授講演会及び桜井市長、野口教授、農林水産省吉田剛技術普及課長によるスマート農業ディスカッション</p> <p>令和7年3月～令和8年5月 第1回～11回 美唄飼料用米コンソーシアム会合</p> <p>令和7年9月 北海道大学と「マガンによる食害対策システムの開発・研究業務」契約を締結</p> <p>令和8年2月 美唄市スマート農業技術普及講習会にて「マガンによる食害対策システムの開発・研究業務」の取組発表を実施</p>						
現状の課題	北海道大学との連携協定式の準備（本市の気候条件に適した多収かつ安定的な飼料用米品種の開発、マガンによる小麦食害対策）						
今後の取組(予定)	<p>令和8年5月 美唄飼料用米コンソーシアム田植えの実施</p> <p>令和8年6月 第12回美唄飼料用米コンソーシアム会合（以降、月1回のペースでミーティングを実施）</p> <p>令和8年6月 生育調査</p> <p>令和8年7月 生育調査（2回目）</p> <p>令和8年9月 稲刈り・収量調査（学生参加、北農研調査）</p> <p>令和8年10月 脱穀</p> <p>令和8年10月～12月 シンポジウムでの報告会・北海道大学との連携協定式</p>						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	19	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	企業誘致による雇用の創出	担当部署	経済観光課	
内容	美州市の周辺環境の変化（道道美唄・富良野線開通など）を踏まえ、企業を誘致し雇用を創出します。					関連事務事業		
重要業績成果指標 KPI	誘致企業数					現状値 (指標設定時)	0件	
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)			
目標値	—	2社	2社	2社	2社			
実績値	0社	1社	1社(メナ水素)					
実施内容 [凡例]  計画 ↔ 実施 ↔	①企業誘致分野の検討							
	②地域活性化企業人の採用							
	③企業誘致活動 (DM・訪問)							
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	美州市産業振興条例に基づき企業誘致活動を行う					
これまでの取組	ホワイトデータセンター構想を活用した企業誘致へ発展させるため、イベント出展による空知団地の周知・PRによる企業誘致活動を実施。							
現状の課題	空知団地の企業立地の相談は、再エネ関連が多い状況から、専門的な知見による情報入手や関係者との連携など、丁寧に対応することが求められている。また、空知団地への電力供給について、高圧の給受電に必要な設備が必要になるが、関連企業の設備が整っていない。							
今後の取組(予定)	北海道と連携したイベント出展並びに商談会への訪問により、情報収集に努めるとともに、PR活動（実施中）により企業の誘致先を広げ、積極的な企業訪問を行う。また、空知団地への電力供給設備体制について、各関係省庁や関係機関への要望活動を行う。							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	20	基本施策	6 農業・産業振興	公約事業	ふるさと納税の倍増	担当部署	企画財政課	
内容	リピート率向上施策と体験型商品の開発により「ふるさと納税」を倍増（4年後：40億円）します。					関連事務事業	ふるさと応援寄附金事業	
重要業績 成果指標 KPI	ふるさと美唄応援寄附金額					現状値 (指標設定時)	6.9億円	
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)	2027年度 (R9)
目標値	20億円		25億円		30億円		40億円	40億円
実績値	23.6億円		9.7億円		6.9億円			
実施内容 [凡例]	計画 ↔ 実施 ↔	①返礼品の充実						
		②魅力ある地域づくりに 関する情報発信						
		③寄附金の使途の発信						
進捗管理								
進捗状況	計画よりも遅れている	進捗状況に関する理由・補足等	返礼品の主力である米が近隣自治体との価格競争により減少した。					
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税紹介サイトを増やす取組</li> <li>・ふるさと納税事務委託業者と連携し、新たな返礼品の開発やふるさと納税紹介サイトの商品掲載サポート、事業者の新規開拓などにより返礼品の充実に努めてきた。</li> </ul>							
現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の寄附者の獲得、リピーターの確保</li> </ul>							
今後の取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付者に対してメルマガを活用してリピーター確保に取り組む</li> <li>・ふるさと納税事務委託業者と連携し、新たな返礼品の開発やふるさと納税紹介サイトの商品掲載サポート、事業者の新規開拓などにより返礼品の充実に努める。</li> </ul>							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約 番号	21	基本施策	7 物価高騰対策	公約事業	市独自の直接給付（1万円）の実施	担当部署	特別定額給付金推進室
内容	物価高騰による影響が市民全体に及んでいることを受け、迅速かつ的確に家計への支援を行うため、住民1人につき1万円の給付金を支給する。				関連事務事業	美唄市物価高騰対策臨時特別給付金事業	
重要業績 成果指標 KPI	-				現状値 (指標設定時)	-	
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	-	-	-	-	-		
実績値							
実施内容 [凡例] 計画 ⇔ 実施 ⇔	①支給内容・方法の検討	⇔					
	②特別定額給付金の支給	⇔					
進捗管理							
進捗状況	完了	進捗状況に関する理由・補足等	事業完了				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支給世帯数 対象世帯数 10,879世帯 支給世帯数 10,749世帯 支給率 98.8% 未支給世帯数 130世帯</li> <li>・支給人数 対象者数 19,136人 支給人数 19,001人 支給率 99.3% 未支給人数 135人</li> <li>・支給額 190,010千円</li> <li>・受給拒否数 8世帯 11人</li> </ul>						
現状の課題	なし						
今後の取組(予定)	なし						


市長公約事業のロードマップ (2023-2027)

公約番号	22	基本施策	7 物価高騰対策	公約事業	生活用品等の寄附窓口の設置と再配布の事業化	担当部署	市民部生活環境課	
内容	衣料品・生活用品等のリユース事業化を検討します					関連事務事業		
重要業績成果指標 KPI	-					現状値 (指標設定時)	-	
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)			
目標値	-	-	-	-	-			
実績値	2回開催	3回開催						
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①「無償であげます・ください」美唄アプリ掲載検討							
	②「ジモティー」等の掲示板サイトへの掲載検討							
	③リユース拠点の設置検討 (人員増 or 業務委託)							
	④古着のリユースイベント 実証事業							
進捗管理								
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等						
これまでの取組	<p>令和6年2月、株式会社ジモティーと締結した「美唄市と株式会社ジモティーとのリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」に基づき、リユース品を販売してきた。</p> <p>また、古着や自転車などを販売するリユースイベントを令和5年度2回、令和6年度3回、令和7年度3回開催した。</p> <p>なお、①「無償であげます・ください」美唄アプリについては、ジモティーとの重複になるため、利用していない。</p>							
現状の課題	<p>ジモティーの活用により、問合せへの電話対応、引渡し等で想定以上に事務が煩雑になり、掲載品を絞るなど運用に見直しが必要。</p> <p>また、市民から古着の提供が毎月一定量あるものの、保管に適切な場所がなく、保管場所の確保が困難。</p> <p>更に開催場所に使用していたコアビバイの閉店により令和8年度からは適切な開催場所の確保も課題である。</p>							
今後の取組(予定)	<p>イベント自体がごみ減量化に向けた市民啓発に有効であり、今後もリユースイベントの開催を継続していく。</p>							

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	23	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	政策形成や意思決定の過程の見える化	担当部署	企画財政課
内容	経営会議の公表と、総合計画の進捗状況を市民に分かりやすく見せるための工夫を行う。					関連事務事業	第7期総合計画進行管理事務
重要業績 成果指標 KPI	—					現状値 (指標設定時)	—
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	—	—	—	—	—		
実績値							
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①経営会議の公表		 				
	②施策評価の記載方法の見直し (R6~)	 					
	③行政評価の見直し			 			
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等	令和6年度に経営会議に付する案件（審議案件、報告案件）の基準を明確にするとともに、会議結果も公表している。				
これまでの取組	①経営会議の公表については、経営会議に付する案件を整理するとともに、ホームページに開催結果を掲載している。 ②施策評価の記載方法の見直しについては、その施策でどのような事業が行われているかわかるようにピックアップ事業を掲載することとした。						
現状の課題	①特になし ②特になし ③特になし						
今後の取組(予定)	①特になし ②特になし ③行政評価（政策評価、施策評価、事務事業評価）全般について、自治体経営アドバイザー（地域活性化起業人）の支援をいただきながら取り組んでいく。						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	24	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	予算が大きく優先度が低い事業の見直し	担当部署	企画財政課
内容	予算が大きく優先度が低い事業の実施内容・時期を見直します。					関連事務事業	備考欄に記載
重要業績成果指標 KPI	-					現状値 (指標設定時)	-
年度	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)		
目標値	-	-	-	-	-		
実績値							
実施内容 [凡例] 計画  実施 	①既存事業の見直し	 					
	②各年度当初予算査定	 	 	 			
進捗管理							
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等					
これまでの取組	毎年度の予算の中で、国の地方財政計画を見極めながら、市民ニーズの把握及び課題解決に向け事業の見直しを行っている。						
現状の課題	昨今の物価高騰のほか、扶助費など社会保障関係費や公共施設やインフラの老朽化対策などの支出増が見込まれている。						
今後の取組(予定)	人口減少や少子高齢化の進展に伴う財政規模の縮小を見据え、持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き「事務事業の質的な転換」を図っていく。						

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	25	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	年40回を目標とした市民と市長との対話会の実施	担当部署	広報情報推進課				
内容	年に40回を目標に、各地域で市民と市長及び職員との対話会を実施します。					関連事務事業	広聴事務				
重要業績 成果指標 KPI	市民との対話に係る事業開催数					現状値 (指標設定時)	21回				
年度	2023年度 (R5)		2024年度 (R6)		2025年度 (R7)		2026年度 (R8)		2027年度 (R9)		
目標値	24	②延9回、③9回、④6回	27	②延12回、③9回、④6回	34	②延12回、③10回、④12回	40	②延12回、③10回、④18回	40	②延12回、③10回、④18回	
実績値	26	②延17回、③9回、④0回	59	②延13回、③10回、④3回、⑤27件、⑥6回	63	②延18回、③10回、④2回、⑤27件、⑥6回					
実施内容 [凡例] 計画 ←→ 実施 ←→	①検討・制度設計	←→		←→							
	②【継続】 市長との対話の日	←→		←→		←→		←→		←→	
	③【拡充】地域懇談会 オープンディスカッション	←→		←→		←→		←→		←→	
	④【新規】 まちづくり勉強会			←→		←→		←→		←→	
	⑤【新規】 まちづくり目安箱			←→		←→		←→		←→	
	⑥その他			←→		←→		←→		←→	
進捗管理											
進捗状況	計画通りに進んでいる	進捗状況に関する理由・補足等		当初想定 of 「④(仮)市長出張対話会等」を、令和6年度より④【新規】まちづくり勉強会、⑤【新規】まちづくり目安箱、⑥その他へ細分化し実施							
これまでの取組	令和6年度から「まちづくり勉強会」「まちづくり目安箱」を開始。また、歌舞裸まつり会場や公営住宅説明会等において意見交換の場を設けた。										
現状の課題	各種対話の機会の市民周知										
今後の取組(予定)	目標である年40回の対話の機会は達成している。今後においては、対象を様々な分野に広げるとともに、各種対話の機会の周知に努める。										

市長公約事業のロードマップ（2023-2027）

公約番号	26	基本施策	8 市政の透明性の向上/職員が活躍する市役所へ	公約事業	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制構築	担当部署	危機管理対策室	
内容	緊急事態で機動力を発揮する市役所・職員の体制を構築します。				関連事務事業	情報伝達体制対策事業		
重要業績成果指標 KPI	①システム登録者数 ②職員研修の開催				現状値 (指標設定時)	①登録率0% ②年0回		
年度	2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
目標値	①登録率100% ②年1回		①登録率100% ②年1回		①登録率100% ②年1回		①登録率100% ②年1回	
実績値	①3% ②0回		①5% ②0回		①5% ②0回			
実施内容 [凡例]	①美唄市防災情報一斉配信システムの職員登録							
	②災害時における対応に係る職員研修の開催							
計画								
実施								
進捗管理								
進捗状況	取り組めていない	進捗状況に関する理由・補足等		職員研修の実施によりメール登録への意識付けが促されるものと期待されることから、確実な研修の実施に取り組む				
これまでの取組	①災害時の職員参集については、主に第2非常配備体制時に参集することとなる管理職のJ-アラート登録を実施 住民向けの防災情報配信システムとは別に、災害時職員参集用のシステムの導入を検討 ②新採用職員向けや総合防災訓練時に防災講話等を実施							
現状の課題	①人事異動により登録対象者が変更となり、対象外となった職員の災害対応時の意識の希薄が懸念される。 ②地域防災マネージャーの採用によりノウハウのある人材は確保されたものの、出前講座や一日防災学校支援等外部への防災教育の頻度が増え、職員向けの研修等の準備期間の確保が困難。							
今後の取組(予定)	①職員の登録について庁内通知の頻度を増やす ②全職員向けの研修を複数回に分けて実施。（外部講師の招へいによる実施も検討）							